



おいしい庄内元気な のうか応援隊(N0.4)活動の様子 H16.3.3

多数の申込みがある人気事業になりました本事業も、最終回を迎えました。その内容をご紹介します。

<メニュー1>

魚のおろし方・加工体験



由良水産加工場の安藤場長から、ほっけの背開きを実演してもらい…



参加者も実際に体験してみました。皆さん包丁さばきも慣れたもので、上手に背開きが出来ました。(写真右下は背開きしたもの)

<地産地消昼食>～地魚料理～



由良の民宿佐藤富五郎さんでの昼食。新鮮な魚介類に参加者も絶賛。冷えた体も温まりました。

<メニュー2>

ハウスでの高設ベンチのいちごの栽培見学と収穫体験



話し上手な今野さんの説明をお聞きして、いざイチゴ狩り



<メニュー3>

ハウスでの軟白ねぎの収穫体験と調整作業の見学



露地栽培の長ねぎだと土寄せしますが、この軟白ねぎは黒いフィルムを使って遮光します。早速、収穫体験してみました。



収穫後、機械による皮むき・手製の筒による袋つめと、出荷まで手間のかかる仕事です。



参加者された皆様お疲れ様でした。

のうか応援隊(NO.4)でのあれこれ

- ほっけ・・・4月中旬から6月が旬の魚です。大きさは1歳で24cm前後です。寿命は8～9歳といわれ体長は最大で60cm前後に達することがあります。漢字は、魚へんに花と書きます。鮮やかな青緑色をした稚魚期のほっけが群れをなして泳いでいる姿が美しい花を連想させることからだそうです。今の時期のほっけは味が淡白なのでミンチにする時は、沖キスを入れると濃厚な味になります。
- 庄内の魚・・・値段が高いというイメージがありますが、旬の魚は鮮度が高く、手ごろな値段で購入できます。(由良水産加工場長・安藤さん談)
- 高設ベンチ・・・農作業は、腰や膝を曲げる等の単純な作業の繰り返しが多く、いちごのハウス栽培も例外ではありません。そこで、苗床を高くし、作業の効率化、省力化を図り、快適な作業環境を作り出したのが、この高設ベンチで多くのいちご栽培農家に普及しています。
- 章姫・・・静岡県生まれのいちごの品種名で、今回収穫体験させていただいた今野さんのいちごもこの品種です。7月の中旬まで出荷する予定だそうです。山形県でも「おとめ心」という品種を開発し、現在増産を予定しています。
- 軟白ねぎ・・・路地で栽培されている長ネギと比較すると、糖度が高く緑の葉の部分もおいしく食べられます。特に、12月から4月までに出荷されるものは、雪中軟白ねぎとして糖度が高く、時期的に旬といえます。また、生のままでも食べられますので、サラダにしてもおいしくいただけます。

サポーター交流会情報

・・・〇知って得する一口講座〇・・・

～庄内の野菜の写真を撮り続けて～

フォトグラファー東海林晴哉氏

ジャズピアノに合わせて、庄内の色々な表情を見せる野菜の写真をを見せていただきました。「モンローウオーク」と「ダンシングベジタブル」と作品で、ストーリー仕立てになっていました。ピアノの音色とほのぼのとした庄内の風景や野菜や小動物にゆったりした時間を過ごすことができました。また、パネルでは素敵なアングルの野菜や野菜の花を展示してもらいました。

・・・〇野菜等の販売〇・・・

いちご(章姫):1パック400円【鶴岡市・今野さん】

「こごめ」と「アマドコロ」:1袋100円

【鶴岡市・後藤さん】

にんじん:1袋100円・うど:1袋150円

【藤島町・叶野さん】

庄内野菜のポストカード:1枚150円

【鶴岡市・東海林さん】

庄内の旬の弁当シリーズ～3月雛弁当～

【鶴岡市・(合)早坂食品】

人が話をしている時に、野菜等を購入したりとマネーが良くなかったとの反省がありました。今後、事務局でも販売方法を検討して、公平に購入できるようにしたいと考えています。いつも数に限りがありますので、皆様のご協力よろしく申し上げます。

庄内地域地産地消推進サポーター交流会【4月例会】のご案内 と地産地消情報提供のお願い

期日 平成16年4月21日(水) 時間 午前11時30分～午後1時30分

場所 東京第一ホテル鶴岡 会費 800円(昼食代)

内容 ・知って得する一口講座
・サポーターの地産地消情報交換

参加申込 別紙により4月16日(金)【必着】まで庄内地域地産地消推進本部に申し込みください。

・地産地消情報をお待ちしています・ ～～別紙によりご記入ください～～

申込締切りの厳守にご協力ください

サポーター登録状況

消費者---185名 流通・事業所関係---87名 生産関係者---74名 合計---346名

庄内地域地産地消推進本部 事務局:庄内総合支庁 農業振興課 園芸振興係 ☎0235(66)2111(内331)

【編集後記】人事異動により、4月から新しいスタッフで心機一転頑張りますのでよろしくお願いします。

別紙

庄内地域地産地消推進本部行き 【4月16日(金)必着厳守でお願いします】

(FA : 0235 - 66 - 2535)

4月21日(水)のサポーター交流会参加申込書

お名前： (計 名)

住所(市町村名)又は所属(事業所)名：

参加される方で、会場にお持ちいただける地産地消情報がございましたらご記入ください。
生産物や加工品、我が家の地産地消料理、チラシやパンフなど、地産地消情報であれば何でも構いません。

お持ちいただける地産地消情報記入欄(4月の交流会)

庄内地域地産地消推進本部からのお願い

サポーター事業がもっと充実するためにあなたの情報をお待ちしております。

サポーター交流会で、あなたの地産地消情報(農作物・加工品・ちらし等)をお持ちいただきご紹介いたします。

地産地消に関する情報であれば、どんな小さなものでも構いませんので教えてください。
庄内ならではの食べ物が食べられるお店や、家に代々伝わる料理方法等、食に関する情報を広く募集しています。

どうぞよろしく申し上げます。

<< 記入欄 >>

庄内地域地産地消推進本部

担当：庄内総合支庁農業振興課内 真柄、池田、野口

電話：0235 - 66 - 2111 (内線331)

ファックス：0235 - 66 - 2535